



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「あいさつがまんあとしまつ」ができる生徒

村上市立荒川中学校
令和4年度第5号
令和4年8月26日発行

被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます

校長 渡辺 安治

今年の夏も猛暑でした。酷暑とも言われる暑さは、ここ数年ずっと継続していますが、暑さには慣れることはできません。そのような中で八月三日から四日未明の豪雨は、私たちの地域に大きな被害をもたらしました。被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、通常の生活となりますことをお祈りいたします。

猛暑の中、生徒は夏休みも頑張りました。午前中、部活動前の学習会です。一・二年生で数学が苦手な生徒や三年生で進路に向けて力をつけたい生徒が、教室で意欲的に学習に取り組みました。理解が深まったり、苦手意識が少しでも解消されたりすることは、今後生徒がより前向きに学習する姿勢となつて表れてくることとでしょう。一・二年生中心の新体制となつた部活動は、熱中症対策をとりながら行いました。熱中症が心配される高温のときは、各部とも練習の内容によつて十分〜三十分ごとに休憩や水分補給の時間を設けて、体調を崩さないように気をつけました。また、ご家庭にも、「朝・昼・夕の食事をしっかりとること、十分な睡眠時間を確保すること、少しでも体調が悪いときは練習を休むこと」をお願いしました。お陰で活動中に体調を大きく崩す生徒はいませんでした。また、事故や怪我もなく、安全で有意義な活動ができました。体育祭活動では、パネル担当生徒が協力して創意工夫

を重ねながら制作していただきました。団長はじめメンバーは、力強く魅力的な応援となるように動きや振り付けを考えていました。

八月三日から四日にかけての豪雨により、当校に避難所が開設されました。私も避難所となつた学校で深夜から明け方にかけてのすさまじい雨量に恐怖を覚えました。夜が明け、駐車場の車が水没しそうになっていく光景は夢であつて欲しいと願うばかりでした。保護者への連絡メールにより、ご家庭の被害状況を伝えていただきました。被害を受けられたご家庭には、ご迷惑とは思いましたが、お見舞いに職員がうかがいまして。御協力ありがとうございました。その後も土砂災害の危険から、引き続き当校に避難所が開設されました。

夏休みは豪雨災害もあり、例年にも増してご多用の中、生徒を元気に学校へ送り出していただき、ありがとうございます。二学期は体育祭をはじめ、学校行事が予定どおり実施できるように努めて参ります。感染症の状況は全国的に予断を許さない状況にあります。引き続き感染症対策を継続します。被害を受けた生徒たちを全職員で励まし支えながら、学校生活が充実するように頑張ります。地域の皆様方には当校へのご理解ご協力を感謝申し上げますと共に、今学期もご支援をよろしくお願いいたします。

